

(別紙3)

評価細目（福祉サービス別項目【特別養護老人ホーム版】）の福祉サービス評価結果

## 評価分類1 利用者の尊重

### 1-(1) 利用者の尊重

評価細目	評価結果
1-(1)-① 利用者の主体的な活動を尊重している。	Ⓐ・b・c
1-(1)-② 利用者の尊重のための取組がある	Ⓐ・b・c
1-(1)-③ 利用者の「生活の質」の維持・向上を目指し、「利用者本位」の姿勢が貫かれている。	Ⓐ・b・c
1-(1)-④ 利用者の終末のケアについて配慮している。	Ⓐ・b・c
<b>評価所見</b> ■ 利用者本位・利用者の尊重についての文言が事業計画の随所に明示されており、在宅生活の継続として外出・買い物など、利用者の意向に沿った支援に努められています。施設は従来型として運営されていますが、一部ユニットケアの考え方を取り入れて、利用者の「生活の質」の維持・向上に努められています。また、終末期ケアに関しては指針やマニュアルが整備され、本人および家族の意向のもと医療との連携を図りながらの看取りが行われています。	

### 1-(2) 利用者の権利擁護

評価項目	評価結果
1-(2)-① 虐待防止のための取組が行われている。	Ⓐ・b・c
1-(2)-② 身体拘束廃止のための取組が行われている。	Ⓐ・b・c
1-(2)-③ 福祉サービス利用援助事業や成年後見制度の活用を推進している。	Ⓐ・b・c
1-(2)-④ 認知症高齢者への対応が適切に行われている。	Ⓐ・b・c
<b>評価所見</b> ■ 虐待防止・身体拘束廃止に積極的に取り組まれており、マニュアルの整備や委員会活動も行われています。成年後見制度については、現在活用されている利用者もおられ、生活相談員による外部研修の受講及び内部での勉強会により積極的に制度についての習熟が図られています。認知症ケアに関しては、研修や会議を通じて適切な対応についての周知が行われ、実際のサービス場面において不適切な対応がないように各部門の責任者による指導が行われています。また、利用者一人ひとりの人権を尊重するための手段が、必要に応じて適切に講じられていることは、書類やヒアリングにより確認できます。	

## 評価分類2 日常生活支援

### 2-(1) 睡眠

評価細目	評価結果
2-(1)-① 安眠について配慮している。	Ⓐ・b・c
<b>評価所見</b> ■ 寝具については、基本的に施設のものを使われていますが、希望に応じて自宅からの持ち込みも可能とされるなど、生活の継続と安眠への配慮がうかがえます。不眠傾向にある利用者には、私物の枕の使用や状況に応じた偽薬の活用、別室での睡眠などが促され、同室の利用者への配慮も含めた安眠への支援が行われています。	

## 2-(2) 食事

評価細目	評価結果
2-(2)-① 食事は利用者の要望や状態に応じて選択できるよう対応している。	Ⓐ・b・c
2-(2)-② 食事を楽しむことができるような工夫を行なっている。	Ⓐ・b・c
2-(2)-③ 美味しく楽しい食事のための調査検討がなされている。	Ⓐ・b・c
<b>評価所見</b> ■ 安全に楽しく食事ができるように食前に嚥下体操を取り入れるなど誤嚥予防に取り組まれています。療養食・常食の主食・副食ともに数種類が用意され、利用者毎の身体状況に対応できるように配慮されています。利用者の希望によりその日の献立以外のものを食することもでき、給食会議に利用者の参加を促して嗜好や希望を聞き取るなど食事に対する利用者の満足度の向上が図られています。また、食事の提供時間についても利用者の起床時間に応じた柔軟な対応に努められています。	

## 2-(3) 排泄

評価細目	評価結果
2-(3)-① 排泄介助は適切に行われている。	Ⓐ・－・c
2-(3)-② トイレは清潔で、利用者が安心して利用できるように配慮されている。	Ⓐ・b・c
<b>評価所見</b> ■ 排泄介助については、個別対応に努められています。日中においては、誘導によるトイレでの排泄の支援に積極的に取り組まれており、排泄介助時の声かけにおいても利用者の自尊心を傷つけないような配慮がうかがえます。トイレについては、清掃が行き届いており、清潔に保たれています。	

## 2-(4) 入浴

評価細目	評価結果
2-(4)-① 入浴は、利用者の状態に応じて柔軟に対応できる仕組みがある。	Ⓐ・b・c
2-(4)-② 浴室・脱衣場等の環境は適切である。	a・－・Ⓒ
<b>評価所見</b> ■ 設定された時間以外でも必要に応じて入浴が可能とされており、希望に応じて個浴も出来るなど利用者の意向に応じた柔軟な対応に努められています。しかし、浴室によっては脱衣場が狭いためパーテーション（衝立）等を活用した廊下での着脱介助が行われており、羞恥心等への配慮や安全面において更なる工夫や改善が望まれます。	

## 2-(5) 整容

評価細目	評価結果
2-(5)-① 利用者の理・美容について、支援が必要な利用者の施設サービス計画書に基づく個別・具体的な実施方法が明示されている。	Ⓐ・b・c
2-(5)-② 衣服の着替え等について適切に支援している。	Ⓐ・b・c
<b>評価所見</b> ■ 利用者の希望に応じて着替えの支援が行われており、清潔に関する配慮がうかがえます。日常着と寝間着の着替えや身だしなみ（化粧等）についても、利用者の意思を尊重しつつ職員がアドバイスをするなどの支援が行われています。	

## 2-(6) 移動

評価細目	評価結果
2-(6)-① 移動（移乗を含む）について、支援が必要な利用者の施設サービス計画書に基づき個別・具体的な支援方法が明示されている。	Ⓐ・b・c
<b>評価所見</b> ■ 移動・移乗については、利用者に必要な器具等が整えられており、個別的な支援に努められています。職員二人体制での介助や残存機能を活かすための方法の検討など、利用者の状況に応じた個別的な支援に努められています。	

## 2-(7) 居室等

評価細目	評価結果
2-(7)-① 居室についてその人の生活習慣を尊重した雰囲気づくりを支援している。	a・Ⓑ・c
<b>評価所見</b> ■ 出来る限り家庭での生活が継続できるよう利用者の私物の持ち込みを受け入れ、環境や雰囲気づくりに取り組みたいとの思いを持たれています。実際に位牌などの持ち込みが行われていますが、まだ工夫の余地があり、組織としても今後の課題として捉えられています。	

## 2-(8) 健康管理

評価細目	評価結果
2-(8)-① 利用者の健康を維持するための支援をしている。	Ⓐ・b・c
2-(8)-② 服薬管理に配慮している。	Ⓐ・b・c
<b>評価所見</b> ■ 常勤の医師及び基準よりも多くの看護師が配置されており、利用者の健康状態の把握に努められています。また、夜間についてもオンコール体制が整えられています。薬剤の管理については、看護師により行われ、変更時には随時、看護師を通して必要な職員に口頭及び書類により情報が伝わる仕組みが構築されています。	

## 2-(9) リハビリテーション等

評価細目	評価結果
2-(9)-① 機能訓練を計画的に行っている。	Ⓐ・b・c
2-(9)-② 廃用症候群（寝たきり等）防止・離床のための取り組みを適切に実施している。	Ⓐ・b・c
2-(9)-③ 行事やレクリエーション等は、利用者の意思を尊重して実施している。	Ⓐ・b・c
<b>評価所見</b> ■ リハビリテーションは、機能訓練指導員により計画的に行われています。また、機能訓練指導員による介護職への個別指導も行われており、日常的に利用者に関わっている様子もうかがえます。 ■ クラブ活動やレクリエーション、季節ごとの行事では利用者の意思を尊重しつつ積極的に参加されるような声かけが行われ、食事などの際にも常に離床を促すよう心掛けられています。 ■ 訪問時には、2ヵ月に一度のロザリオ喫茶が催されており、利用者はお茶やお菓子を職員と相談しながら選び、楽しげな時間を過ごされている様子がうかがえました。	

## 2-(10) 家族との連携

評価細目	評価結果
2-(10)-① 家族との連携・交流を適切に支援している。	Ⓐ・b・c
<b>評価所見</b> ■ 家族との面会や外出等は希望に応じて対応されており、家族の宿泊についても可能な環境が整えられています。また、行事の案内や機関紙による情報の発信など、家族との連携・交流に努められています。利用者に関する報告については随時行われており、記録の開示についても方針が整備されています。家族会の発足についても前向きに検討したいといった意向を持たれています。	

2-(11) 外出・外泊

評価細目	評価結果
2-(11)-① 利用者の外出・外泊を適切に支援している。	Ⓐ・b・c
評価所見 ■ 外出・外泊は利用者の意思、家族の希望により行われ、担当の職員によりその調整が行われています。また、故郷訪問と呼ばれているドライブについても積極的に取り組まれており、利用者の精神的な安定につながっているようです。	

2-(12) サービスの提供

評価細目	評価結果
2-(12)-① 利用者一人ひとりに対するサービスの提供が、適切に行われている。	Ⓐ・b・c
評価所見 ■ それぞれのサービス提供場面において、計画に基づいた個別ケアに取り組まれており、楽しんで生活していただけることを大切に考えた支援を心掛けられています。	

評価分類3 安全・救急対応

3-(1) 安全・救急対応

評価細目	評価結果
3-(1)-① 感染症対策に配慮している。	Ⓐ・b・c
3-(1)-② 食中毒対策に配慮している。	Ⓐ・b・c
3-(1)-③ 救急対応に配慮している。	Ⓐ・b・c
評価所見 ■ それぞれにマニュアルが整備されており、各委員会において事例を用いた検討や研修等が行われています。厨房においては衛生管理について点検票を用いた自己チェックも行われており、夜間における急変時についての医師・看護師への連絡体制も確立されています。	